

夏にもアスパラガス！！

ギンビス アスパラガスビスケットは、 日本気象協会が推進する2020年度「熱中症ゼロへ」プロジェクトの オフィシャルパートナーに決定しました。

株式会社ギンビス(本社:東京都中央区 代表取締役社長:宮本周治)が製造・販売する「アスパラガスビスケット」は、この度、ビスケットブランドで唯一、一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太)が推進する2020年度「熱中症ゼロへ」プロジェクトのオフィシャルパートナーに決定いたしました。



「熱中症」とは、高温多湿な環境に、私たちの身体が適応できないことで生じるさまざまな症状の総称です。熱中症による2019年(5月～9月)の全国救急搬送人員は、2018年(5月～9月)の95,137人と比べると23,820人減の71,317人でしたが、8月の救急搬送人員は前年の1.2倍、9月は3.4倍に増加しました。また、救急搬送人員の年齢区分別では、高齢者が最も多いという状況です。(出展:総務省 消防庁 報道資料)

1968年に発売し、半世紀以上つづくアスパラガスビスケットは、親子3世代に愛され、高齢者層に根強いファンを多くもつロングセラーで、「黒ごまの風味」と「塩味」、「カリッとした食感」が特徴です。アスパラガスビスケットは、「熱中症ゼロへ」プロジェクトの活動を通して、一人でも多くの方に熱中症予防の大切さを呼びかけてまいります。

■「熱中症ゼロへ」プロジェクト協賛 夏季限定パッケージ発売



アスパラガスブランドが、ビスケットブランドで唯一、「熱中症ゼロへ」プロジェクトのオフィシャルパートナーに決定したことから、「アスパラガス(135g)」、「アスパラガス(6本入り)」の2つの製品で、夏季限定パッケージを発売します。

店頭において「熱中症ゼロへ」プロジェクト協賛を告知するとともに、当活動を通して熱中症予防の大切さを伝えることを目的としています。

◇夏限定パッケージ販売期間目安

—アスパラガス(135g) : 4月頃～8月頃を予定

—アスパラガス(6本入り) : 6月頃～9月頃を予定

■アスパラガス+水で手軽に美味しく塩分補給

熱中症対策には、水分だけでなく、汗と一緒に失われる塩分(ナトリウムイオン)の摂取が好ましいとされています。アスパラガスビスケット12本と水150mlを目安に一緒にお召し上がりいただくことで、食塩0.2g相当のナトリウムイオンを摂取することができます。また、アスパラガスビスケットはぶどう糖を配合しています。ぶどう糖の効果として、ナトリウムと水分を効率的に体内に吸収することが報告されています。

■企業情報

ギンビスは2020年で創業90周年を迎えます。

1930年、東京都墨田区に創業者の宮本芳郎夫婦が営む菓子店としてギンビスの前身「宮本製菓」が創業。その後評判を呼び、1945年に銀座1丁目に「銀座ベーカリー」という営業所とレストランを開業。開業当初の「銀座で1番美味しいビスケットを作ろう!」という決意と、「銀座への思い」、そして「ビスケット」へのこだわりから、1974年に「銀座ビスケット」を略した「株式会社ギンビス」へと社名を変更し、今に至ります。「アスパラガスビスケット」や「たべっ子どうぶつ」、「しみチョココーン」など、「お菓子を夢を!」をスローガンに、新たなお菓子の開発に取り組んでいます。

■「熱中症ゼロへ」プロジェクトとは

熱中症にかかる方を減らし、亡くなってしまう方をゼロにすることを目指して、日本気象協会が推進するプロジェクトです。熱中症の発生に大きな影響を与える気象情報の発信を核に、積極的に熱中症対策を呼びかけています。2013年夏にプロジェクトを発足、行政、自治体、民間企業、専門家と連携し、熱中症予防に必要な情報を対象者・シーンなど個別の環境や、状況に合わせたよりきめ細やかな情報提供、啓発を行っています。

「熱中症ゼロへ」プロジェクト公式サイトより:<https://www.netsuzero.jp/>

・「熱中症ゼロへ」は一般財団法人 日本気象協会の登録商標です。

■一般財団法人 日本気象協会について

1950年に誕生した日本気象協会は、天気予報に代表される気象予測事業に加え、再生可能エネルギー、環境アセスメント、大気解析事業、防災・減災・安全管理に関する事業など、気象に関するコンサルティング事業を通じ、公共に資する企業活動を展開しています。

以上